



命を救う。命をつなぐ。
CHIKAMORI
HEALTHCARE GROUP
近森病院

近森病院からの ホットライン

2024.7 Vol.245

発行：近森病院地域医療連携センター



胆膵疾患

の内視鏡診断・治療を 頑張っています

1年ぶりに近森病院に帰ってまいりました、町田 彩佳と申します。2023年4月から2024年3月まで東京の順天堂大学医学部附属順天堂医院に国内留学し、胆膵疾患について学んできました。順天堂大学では胆膵領域の第一人者である伊佐山浩通先生の下、超音波内視鏡（EUS：endoscopic ultrasonography）や内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP：endoscopic retrograde cholangiopancreatography）といった胆膵内視鏡手技や、胆膵悪性疾患の化学療法勉強をしております。

順天堂大学での経験を活かし、今後は急性胆管炎などの救急疾患の緊急内視鏡の対応はもちろんのこと、膵癌の早期発見・早期治療にも力を入れていきます。



▲ 順天堂大学にて

患者さんへ病状や検査内容などを分かりやすく丁寧に説明することを心がけておりますので、ご理解・ご安心いただけるかと思っております。裏面にあるような急性胆管炎、膵癌が疑われる患者さんがいらっしゃれば、ぜひご紹介いただければ幸いです。

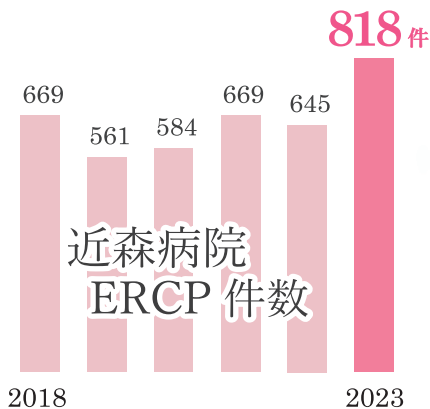


消化器内科 町田 彩佳

- 2017年 高知大学卒業
- 2017年 近森病院にて2年間初期臨床研修後、消化器内科へ
- 2023年 順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科への国内留学
- 2024年 近森病院へ

急性胆管炎

当院は救急病院ということもあり、胆管結石や胆膵悪性腫瘍による急性胆管炎で救急受診される患者さんが非常に多く、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）での治療件数は県内で最も多い施設です。



- ①発熱 ②腹痛 ③肝胆道系酵素上昇 など

の所見や症状が見られましたら、胆管炎が疑われます。

胆管炎は敗血症に移行しやすく、超高齢社会の高知県では、ご高齢の患者さんが多く、重症化すると致命的となることもあるかと思われます。また、特に夏場の脱水になりやすいこれからの時期は、胆管炎で当院にご紹介いただくことが多い印象です。当院で必要な検査や治療まで対応させていただきますので、胆管炎が疑われる場合には速やかにご紹介いただければ幸いです。



患者紹介 WEB 予約システム ぜひご活用ください。
お問合せは 地域医療連携センターへ 088-822-5231 (代)



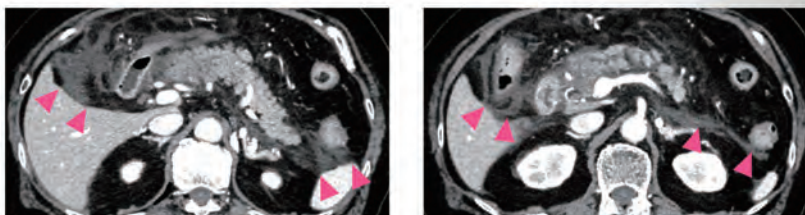
ご利用ガイドは
こちらから

膵炎

膵炎は、胆管炎と同様にご紹介いただくことが多い疾患です。膵炎の2大原因は、アルコール性と胆石性と言われています。その他には原因が特定できない特発性、高脂血症、遺伝性・家族性などがあります。

特に胆石性の場合には、胆管炎の時と同様に内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）での処置を必要とします。膵炎は重症化すると死亡率も高くなるため、早期からの治療介入が望ましいです。

- ①発熱 ②腹痛 ③膵酵素上昇などの所見や症状が見られましたらご紹介ください。



▲急性膵炎 頭部優位に腫大が認められ、膵周囲～右骨盤腔、上行～横行結腸・胃周囲に effusion が広がっている。



膵癌

膵癌は年々増加傾向にあり、早期膵癌は無症状であることから、発見時には手術不能な状態まで進行していることが多く、予後不良の要因とされています。早期発見が膵癌予後改善の最善の方法であり、臨床症状、血液検査、腹部超音波検査所見などから膵癌疑い症例を拾い上げることが重要とされています。

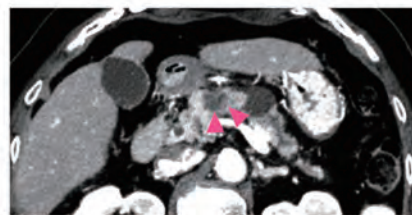
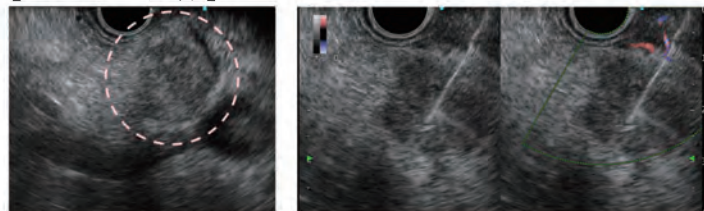
- ①腹部・背部痛、②体重減少、③糖尿病の急激な悪化、④膵酵素、腫瘍マーカーの上昇
⑤腹部超音波検査での膵管拡張、膵嚢胞などの所見や症状があれば、膵癌の疑いがありますのでご紹介ください。

ご紹介いただいた後は、当院にて造影 CT 検査や超音波内視鏡（EUS）での精査を行い、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）での組織診断を行います。

診断結果に応じて、手術であれば消化器外科、化学療法であれば消化器内科で対応します。

▶▼膵癌ステージII B
膵頭部から体部にかけて、乏血性腫瘍を認め、体尾部の萎縮、主膵管拡張、尾部近位の貯留嚢胞が認められる。

【EUS-FNA 施行】



胆膵疾患のご紹介は
胆膵チームへ

月 火 水 木 金

午前 梅下 - 町田 大川 -



2023年6月号 ホットライン
「膵がんの
早期発見・早期治療」



こちらも
ぜひご覧ください